

情報連絡員報告を中心とした

県内の中小企業動向

平成27年10月期

情報連絡員50名 回答数50名

全体概要 【前月からの動き】

※下記の数字は情報連絡員からの回答数を表します。
 (「好転(上昇、増加)」、「不変」、「減少(悪化、低下)」の3択回答のうち、「不変」を除く「好転」又は「減少」の回答数)

前月比

- ▶製造業では、売上高において「増加した」業種は7から8に増加。「減少した」業種は6から4に減少。
- ▶非製造業では、売上高において「増加した」業種は6から8に増加。「減少した」業種は10から9に減少。
- ▶業界の景況では、「好転した」業種は1から3に増加。「悪化した」業種は11から7に減少。

前年同月比

- ▶製造業では、売上高において「増加した」業種は2から3に増加。「減少した」業種は10のまま変化なし。
- ▶非製造業では、売上高において「増加した」業種は8から9に増加。「減少した」業種は12から14に増加。
- ▶業界の景況では、「好転した」業種は3から5に増加。「悪化した」業種は10から15に増加。

製造業

製材

10月の南洋材入港1隻、ロシア材・米材入船なし。在庫は減少している。

【木更津】

印刷

景況の変化について、10月の県内組合員受注売上は、9月とほぼ同様に推移した模様です。日銀が景気判断を下げたように一般市民や大半の経営者が感じている景況感悪化が続いています。デフレ・円安基調が継続する中、消費者物価の上昇・保険金の負担増・公的助成金の減額等で基調として消費は振るわないようです。特殊要因のある地域と何もない地域では景況感にかなりの差異が顕在化して来ています。

電気鍍金

【県内全域】

9月は比較的良いかと思いましたが、対前年で10%以上落ち込んでいました。

鉄工

【千葉】

景況の変化について、当組合が実施した直近の景気動向調査の結果では、受注動向・売上高・収益状況等の主要指標に、若干の下押し傾向が見られたが、全体として、これまでの調査と較べ大差なく比

較的堅調に推移している、との調査結果が得られました。もちろん、企業間での跛行性は見られるものの、厳しい状況推移の中においても、各々が独自性を発揮し健闘しているところとポジティブに受け止めているところとです。

機械部品製造

【野田】

一部を除き横ばいの状況。業界動向は全般に操業度低下の状況。厳しい状況が続いている。

機械部品製造

【柏】

全般的(取引先)に低調。特に半導体関連は12月まで激減。業界動向は、医療・マシン・その他開発案件、試作は増加。

金属製品製造

【船橋】

景況の変化は、これまでの報告と同じ、特に変化は見られない。組合の事業活動は、全国工場団地協同組合連合会の研修会に出席。工業団地の将来像について研修及び各団地の責任者と意見交換を行った。

採石

【県内全域】

石材の出荷は10月に入りストップした状況が続いている。今後の出荷は仕事を発注する公共団体の工事発注の遅れなどから、石材の搬出は12月以降に延期になる可能

性がある。

【土砂採取】

【県内全域】

例年9月以降になれば上向くと
の期待感も結果は依然前年割れが
続いているところが大半である。
業界動向は、年内の見通しは暗く、
ダンプ船等の協力業者へしわ寄せ
がいかざるを得ない状況にある。

非製造業

【総合卸売】

【千葉県・東京都】

【総合】27年度下期に入っても、
一部の事務機器・オフィス家具卸
等で回復が見られるものの、総体
的には売上の増加、収益性の改善
は見られず、平年並み。

【建築材料卸売】

【県内全域】

景況の変化について、停滞局面
から下降局面へ入った。民需は売
行き懸念から手控え、官需は息切
れ、需要は都心の一部のみ。東京
ですら周辺は停滞し、隣接する首
都圏3県は平均前年比80%台の激
減。千葉中央部等一部では半減地
区も散見されている。千葉県は外
環のみほかの物件が無い。内需主
体の業種は厳しい環境に。

【自動車解体】

【県内全域】

景況の変化は、スクラップ価格
下げ止まらず。先行きの見込みも
回復の期待は薄いため、景況は悪

化する一方。

【乾物卸売】

【県内全域】

組合の事業活動は、10月25日、
協同組合フェアに応援協力。「手
巻きごはん」40食無料配布。約350
件のアンケート回答を得る。「海
苔フェア(仮称)」を企画。海苔パ
イキング・利き海苔・海苔巻教室
の内容で来年1月・2月に計6回
開催を決定。

【卸売】

【茂原】

景況は良くありません。企業間
でも勝ち組負け組がはっきり判断
できるようでありませす。人々の動
きも天候(気温)等々に左右され
るようで、あまり活発な動きは見
られません。

【電気機器小売】

【県内全域】

景況の変化について、相変わらず、
売り上げは悪い。ソニーは赤
字から脱するらしいが、シャープ、
東芝が大赤字で改革が進んでい
る。以前は、メーカーの系列に入
りメーカーの指導で売り上げは確
保できたが、メーカーは力を無く
し指導力を無くし、販売店は自力
で経営しなければならなくなった。

【青果小売】

【千葉市】

秋野菜が下旬より入荷増とな
り、急激に価格が下がり出して

る。イベント等も多くあったため
か、売上は前年を大きく上回った。

マイナンバーに関することを組合
員の大半は理解していないように
感じている。

【小売】

【東金】

景況の変化について、ファッ
ション関連品は、冬物の動きは少
しずつ上がってきたが、相変わらず
ず厳しい。日用品関連は若干だ
が上向いてきている。食品関係は、
商品の値上げも一段落したが客数
の伸び悩み。飲食店もSC全体の
客数の減少により、売上は減少気
味。

【小売】

【野田】

景況の変化について、天候にも
恵まれたが、秋のイベントでの来
店客数が増えた。プレミアム付商
品券の発売も売上増に貢献したよ
うだ。

【小売・サービス】

【柏】

景況の変化について、個人消費
意欲を全く感じられない。通常10
月は秋本番で販売指数も高いのだ
が、どの業種も全く良くない模様、
商店街でも活気が感じられない。
当商店街に海鮮屋(非会員)が当
初20時間営業で出店したがだんだ
ん営業時間を短縮し今では8時間

と成ってしまった。

【学習塾】

【県内全域】

組合員数の推移は、1塾増えて
112塾。組合の事業活動等について、
10月17日 千葉市生涯学習セン
ターにて 恒例の公立高校入試説
明会を開催。
1420名の生徒・保護者が参
加し、盛大に実行された。

【土木・建築サービス】

【県内全域】

景況の変化について、政府の10
月月例経済報告で、景気判断が1
年ぶりに引き下げられた。また、
日経の景気討論会でも、景気の現
状は輸出や生産の落ち込みで足踏み
状態にあり、中国経済の減速をは
じめとする海外リスクの高まり
で、先行きに不透明感が強まって
いるとの指摘がなされている。

【建設】

【県内全域】

10月の公共工事落札状況は、11
組合中8組合が前月実績を下回っ
た。しかしながら、年度受注ベ
スでは前年同時期比6%増を確
保。災害復旧工事、庁舎建替工事
等が全体を牽引している。

【貨物運送】

【野田】

組合員それぞれの景況は悪くな
いようだが、自社車両で輸送が聞
に合っているようだ。